

学校だより

NO.21

2024（令和6）年10月30日

伊賀市立西柘植小学校

発行責任者 里田雅彦

青空集会から

集会では、毎回スピーチをして、聞いて思ったことや質問を返す時間があります。聞く側は「どんなことを言おうかな。」とそれぞれに自分の心を働かせながらよく聞くことができます。その場で考えたことをすぐに話すことはなかなか勇気がいることですが、だんだんと話せる子が増えてきています。

先日、スピーチ後の感想や質問がなかなか出されず、重苦しい雰囲気が続くということがありました。きっとスピーチをした子は、「ちゃんと言いたいことが伝わっているのかな。」と不安な気持ちでいたと思います。しばらくの沈黙の後、感想が次々と出され、また会場が和やかな雰囲気に包まれました。はらはらした気持ちで見ていた私は少しほっとしました。集会の終わりには、集会を振り返って感想を交流する時間があります。1人の子が先ほど沈黙が続いた子のスピーチについて次のようなことを話しました。「さっき言えなかったけど、〇〇さんの話を聞いて楽しそうだなと思いました。」素晴らしいなと思いました。スピーチをした子の気持ちを察してなのかどうかはわかりませんが、スピーチをした子の心が少しやわらいだような気がしました。子どもたちのやりとりを見ていて、温かい気持ちになりました。



いじめアンケートの実施

学期に1回行っている「いじめアンケート」を実施しました。一人ひとりが答えたアンケートには「悪口やいやなことを言われた。」「遊びの仲間に入れてもらえなかった。」「すれ違いざまに軽くぶつかられたり、たたかれたりした。」「文房具を勝手に持っていかれた。」といったことが書かれており、一つ一つについて担任が聞き取りを行い、事実確認をすすめました。中には、以前話し合いをして解決したが、まだ心にひっかかっているという子もいました。子どもたちが安全・安心に過ごせるよう、事実を正しくとらえ、解決に取り組んでいます。

今後も、アンケートだけでなく、私たち教職員が子どもたちの様子から早期発見できるよう、何より困った時にすぐに相談してもらえる子どもたちとの関係づくりに努めていきます。ご家庭で何かお気づきのことがありましたら、すぐにご連絡いただきますようお願いいたします。裏面に載せた「いじめ早期発見のための気づきリスト（保護者用）」も参考にさせていただけたらと思います。